

新しい年を迎えて



飛鳥村長  
加藤光彦

あけましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が蔓延し、我々の社会に甚大な影響を及ぼしました。普段の生活においても、マスクによる予防、三密回避、入店時の検温など様々な変化が見られました。さらに村のイベントについても、例年通り開催することができず、非常に歯がゆい1年となりました。

一方で、規模を縮小して開催したふるさとフェスタは、村民の皆さまのご協力のおかげで成功することができました。この経験を活かし本年は感染対策を十分に行うため、開催が可能なイベントを検討し、積極的に実施できるように取り組んでまいります。

さて、昨年10月に増便させてい

ただいた飛鳥バスですが、4月1日からはICカードの使用が可能となる予定です。活気あるむらづくりには公共交通の利便性向上が不可欠です。今後も利用者の皆さまのご意見を取り入れながら、より利用しやすい運行形態への改善に取り組んでまいります。

また、今後発生が懸念されます南海トラフ地震等の自然災害から子どもたちの安全を確保するため、本年から飛鳥村立第一保育所の施設改修に着手します。「ひとづくりによるむらづくり」の根幹部分となる、子どもたちを安心して産み育てることが出来る地域づくりを進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大から間もなく1年が経過しようとしております。新型コロナウイルス感染症の脅威はいまだ続いております。現在第3波の只中であると考えられています。本年もコロナウイルス感染症の感染拡大を最小限に抑えるよう、鋭意努力してまいりますので、今後とも皆さま方のご支援、ご協力を賜いますよう、お願い申し上げます。

最後に申しあげますが、本年も皆さま方のご繁栄とご多幸を祈念し、

年頭のご挨拶といたします。

令和3年 元旦

新春を迎えて



愛知県知事  
大村秀章

あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立に取り組むとともに、ジブリパークの工事着手や、スタートアップ支援拠点「ステーションAi」の事業開始など、ウイズコロナ・アフターコロナを見据え、「愛知」を「新起動」させる年となりました。

世界は、新型コロナウイルスの感染拡大、グローバル化やデジタル化の加速度的な進展などにより、刻々と変化しています。愛知県が日本の成長エンジンとして、我が国の発展をリードし続けるためには、変化に的確に対応し、新たな付加価値を生み出していかなければなりません。

今年も、国内外から最先端の技

術・サービス・人材を取り込みながら、モノづくり産業と融合した愛知独自のスタートアップ・エコシステムを推進し、新たな付加価値を創出する「愛知発イノベーション」の実現を目指します。

あわせて、ジブリパークの整備など、愛知の魅力を高める取組を進め、国内外でのプレゼンス向上を図ります。

また、リニア開業を見据えた社会基盤整備、農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民生活と社会福祉の向上にも取り組むとともに、今年開催予定のロボカップアジアパシフィック大会・ワールドロボットサミット、世界ラリー選手権などのビッグイベントも万全の準備を整え、愛知の魅力を世界中に発信してまいります。

「暮らし・経済・環境が調和した輝くあいち」の実現に向けて、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和3年 元旦